

# 第 2 次 四 條 畷 市 行 財 政 改 革 プ ラ ン

(平成29年度～令和3年度)

## 令和元年度進捗評価シート

- |      |          |  |      |                       |
|------|----------|--|------|-----------------------|
| 区分A) | 全庁的取組み   | 市民生活への影響が大きいものなど、特に重要な項目（半期に一度の評価）             | 方針1) | 公平、公正、適正な税等の負担と効率的な運営 |
| 区分B) | 課を超えた取組み | 課を超える、超えないに関わらず、複数の課で歩調を合わせて取り組むべき項目（四半期ごとの進捗） | 方針2) | 費用対効果の更なる追及           |
| 区分C) | 各課の取組み   | それぞれの課が取り組む項目（四半期ごとの進捗）                        | 方針3) | 生産性の向上を趣旨とした業務の最適化    |

### ○進捗評価点について

取組期ごとの、計画に基づいた取組の進捗に対する評価  
 分母は3点×取組み期数、分子は取組み期ごとの評価点  
 （四半期ごとの満点は3点、年間通じての取組みであれば、3点×4期で12点が分母となる）

#### ・進捗評価点のつけ方

- 3点・・・「計画通り」
- 2点・・・「ほぼ計画通り」
- 1点・・・「計画通りに進んでいない」
- 0点・・・「未着手」

進捗評価点 (プラン全体)	292 /420	進捗率	70%
(方針1)	190 /243	(方針1)	78%
(方針2)	43 /93	(方針2)	46%
(方針3)	59 /84	(方針3)	70%

### ○目標評価点について

年度ごとに定めた目標値の達成度合いに対する評価（具体的数値目標を定めているもののみ評価対象）下記のとおり3点満点となる

#### ・目標評価点のつけ方

- 3点・・・「目標値以上」
- 2点・・・「目標値の80%以上」
- 1点・・・「目標値の80%未満」
- 0点・・・「目標値の0%以下」

進捗評価点 (プラン全体)	26 /33	進捗率	79%
(方針1)	21 /24	(方針1)	88%
(方針2)	3 /3	(方針2)	100%
(方針3)	2 /6	(方針3)	33%

○第2次四條躰市行財政改革プランの目標と各年度実績

		(参考)	実績	実績	実績	(参考)	備 考
		H28	H29	H30	R1	R3の目標値	
I	実質収支黒字の堅持 ・実質収支額 ・実質収支比率	4.40億円 3.9%	3.74億円 3.2%	4.05億円 3.5%	4.22億円 3.6%	4億円 3.9%	※平成28年度と同程度の額を維持が目標
II	基金残高の保持 ・財政調整基金年度末残高 標準財政規模に対する率 ・公共施設整備基金年度末残高	18.7億円 16.5% 13.0億円	15.9億円 13.8% 15.5億円	16.0億円 13.7% 20.5億円	18.1億円 15.4% 23.1億円	19億円 16.5% 25億円	※目標達成には毎年2.4億円の積み増しが必要(公共施設整備基金)
III	経常収支比率の維持 (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	93.5% 92.5% 93.8% 98.2%	94.0% 92.8% 94.0% 97.5%	95.1% 93.0% 93.7% 96.9%	96.9% - - -	93.5% - - -	※平成28年度決算と同程度の水準維持が目標
IV	実質公債費比率の堅持 (参考) ・全国平均 ・類似団体平均 ・府平均	6.8% 6.9% 6.9% 6.1%	6.1% 6.4% 6.6% 5.0%	5.6% 6.1% 6.4% 4.1%	5.6% - - -	6.6% - - -	※平成28年度決算時から下回ることが目標

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度							
実施内容	R1(2019)年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。  徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の 公平性と自主財源の確保を図る。  ※平成28年度徴収率：96.5% 現年度 99.0% 滞納繰越分 33.8%	目標	徴収率目標 96.9%	徴収率目標 97.3%	徴収率目標 現年度分 99.3% 滞納繰越分37.4%	徴収率目標 現年度分 99.4% 滞納繰越分38.6%	徴収率目標 現年度分 99.5% 滞納繰越分39.8%							
		目標効果額	調定額の0.4%の額	調定額の0.8%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.3% 滞納繰越分 : 3.6%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.4% 滞納繰越分 : 4.8%	-							
		所管課	税務課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施 責任者	総務部長	評価者	副市長	評価 周期	四半期ごと			
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
令和元(2019)年度	今年度の目標	年間 実施 項目	① 納付方法の拡大及び検討 (電子収納の検討)		計画	電子収納の検討								
	徴収率目標 現年度分 99.3% 滞納繰越分37.4%		実績	課内検討	事業者と情報共有	庁内、関係機関 と調整	予算 要求	導入せず						
	・徴収率向上のための対 応策を随時実施		② 口座振替推進 (口座登録キャンペーン)	計画	キャンペーン周知・広報									
			実績	キャンペーン周知・広報						結果通知				
	目標効果額		③ 共同処理の実施 (機構活用)	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公売実施						返還	
			実績	予告送付	引継	滞納整理 実施	滞納整理実施	滞納整理実施	滞納整理実施	滞納整理実施	返還 次年度選定			
	実績効果額		④ 現年徴収率向上の取組み強化 (コールセンター全庁化検討)	計画	計画策定		コール実施～		投函実施～		研修実施			
	調定額×下記 の率の額 現年：0.3% 滞納：3.6%		99,437千円	⑤	計画									
	進捗評価点		目標評価点	振返り	目標達成 (現年度分99.3% 滞納繰越分38.5%) ※全体97.9% コールセンター全庁化検討 は一部実施したこと、別項目でも包含して 検討しているため取組み終了。	進捗 評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12		3 /3		コメ ント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針1	①・2	項目	国民健康保険料の徴収率向上
-----	-----	----	---------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	R1(2019)年度から徴収率目標を変更しています。 ※変更前は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。  徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。  ※平成28年度徴収率：76.9% 現年度 91.8% 滞納繰越分 26.8%	目標	徴収率目標 77.2%	徴収率目標 79.2%	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分30.4%	徴収率目標 現年度分 92.3% 滞納繰越分31.6%	徴収率目標 現年度分 92.4% 滞納繰越分32.8%		
		目標効果額	調定額の0.3%の額	調定額の2.3%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 0.4% 滞納繰越分 : 3.6%	-	-		
		所管課	保険年金課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	健康福祉部長	評価者	副市長

・徴収率向上のための対応策を随時実施

実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)					
令和元(2019)年度	今年度の目標	年間実施項目	① 共同処理の実施(機構活用)	計画	予告送付	引継	随時滞納整理の実施、公売実施				返還			
	徴収率目標 現年度分 92.2% 滞納繰越分30.4%			実績	予告送付	引継	滞納整理	滞納整理の実施	滞納整理の実施	滞納整理の実施	滞納整理の実施	返還・次年度選定		
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		② 現年徴収率向上の取組み強化(加えてコール全庁化検討)	計画	計画策定		コール実施～		投函実施～		研修実施			
				実績			策定		実施8/1～3/31	実施10/1～3/31	予定	各課内部研修		
	目標効果額		実績効果額	③ 分納納付書(再発行納付書)共通化検討	計画	計画策定		調査実施		事業案策定		実施準備		
					実績			策定	業者依頼	未回答	(再)業者依頼	未回答	継続協議中	
	調定額×下記の率の額 現年: 0.4% 滞納: 3.6%		66,444千円	④ 効果的な徴収方法の調査研究	計画	新たな収納チャネルの導入検討		調査研究		事業案策定		実施準備		
					実績			両課で協議	クレジット納付検討	クレジット納付検討中断 電子マネー検討, 予算要求	電子マネー検討済			
	進捗評価点		目標評価点	振返り	目標達成 (現年度分 92.9% 滞納繰越分 30.8%) ※全体 81.7%	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2
						コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		業者との交渉を進めること		業者との交渉を進めること	
10 / 12	3 / 3													

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針1	①・3	項目	保育所保育料等の徴収率向上
-----	-----	----	---------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	R1(2019)年度から徴収率目標を変更しています。	目標	徴収率目標 77.0%	徴収率目標 78.0%	徴収率目標 現年度分 97.7% 滞納繰越分20.5%	徴収率目標 現年度分 98.1% 滞納繰越分24.9%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分30.3%		
	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。		・徴収率向上のための対応策を随時実施						
	※平成28年度徴収率 75.8% 現年度 96.5% 滞納繰越分 6.0%		目標効果額	調定額の1.2%の額	調定額の2.2%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 1.2% 滞納繰越分 : 14.5%	調定額×下記の率の額 現年度分 : 1.6% 滞納繰越分 : 18.9%	-	
所管課	子ども政策課及び徴収対策課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	子ども未来部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
	今年度の目標	年間実施項目	①	現年徴収率向上の取組み強化	計画	計画策定	コール実施～	投函実施～	研修実施
	徴収率目標 現年度分 97.7% 滞納繰越分20.5%		②	効果的な徴収方法の調査研究 (税クレジット納付の導入検討) 組み込むかは実施するかは原課検討願います	計画	計画策定	調査実施・検証	事業案策定	実施準備
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		③	分納納付書(再発行納付書)共通化検討	計画	計画策定	調査実施	事業案策定	実施準備
			目標効果額	実績効果額	④				
	調定額×下記の率の額 現年: 1.2% 滞納: 14.5%		10,547千円	⑤					
	進捗評価点	目標評価点	振返り	目標達成 (現年度分 98.3% 滞納繰越分 44.9%) ※全体 83.5% コールや投函等の継続的な取組みを実施するとともに、効果的な徴収方法について検討を行った。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2
	10 / 12	3 / 3	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	業者との交渉を進めること	業者との交渉を進めること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針1	①・4	項目	幼稚園保育料の滞納額の縮減
-----	-----	----	---------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	平成28年度末の滞納額から滞納額を30%縮減する。 (※平成28年度末滞納額：53万円)	目標	目標残額 4 8 万円	目標残額 4 3 万円	目標残額 4 1 万円	目標残額 3 9 万円	目標残額 3 7 万円		
		・徴収率向上のための対応策を随時実施							
		目標効果額	50 千円	50千円	20千円	20千円	-		
所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと

実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
令和元(2019)年度	今年度の目標		① 分納分の確実な徴収	計画	状況確認						
	目標残額 4 1 万円	年間実施項目		実績	状況確認	状況確認	状況確認	状況確認			
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		② 納付勧奨	計画		催告	支払督促				
		実績			催告	見送り		催告	納付相談・分納誓約		
	目標効果額	実績効果額	③	計画							
				実績							
	20千円	122千円	④	計画							
				実績							
	進捗評価点	目標評価点	⑤	計画							
				実績							
11 /12	3 /3	振返り	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
			コメント	予定通り進捗		概ね予定通り進捗		予定通り進捗		予定通り進捗	

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度					
実施内容	R1(2019)年度から徴収率目標を変更しています。	目標	徴収率目標 90.0%	徴収率目標 90.2%	徴収率目標 現年度分 98.2% 滞納繰越分15.0%	徴収率目標 現年度分 98.5% 滞納繰越分22.0%	徴収率目標 現年度分 98.6% 滞納繰越分25.0%					
	徴収率の向上と滞納額の縮減により、負担の公平性と自主財源の確保を図る。  ※平成28年度徴収率：89.0% 現年度 96.8% 滞納繰越分 8.5%	目標効果額	調定額の1.0%の額	調定額の1.2%の額	調定額×下記の率の額 現年度分 : 1.4% 滞納繰越分 : 6.5%	-	-					
所管課	青少年育成課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	青少年育生課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		計画				催告		催告		催告	
	徴収率目標 現年度分 98.2% 滞納繰越分15.0%		① 納付勧奨	実績		催告	催告			記録郵便・滞納者利用不可の旨掲示	規則改正	
	・徴収率向上のための対応策を随時実施		② 督促状の訪問交付 分納相談	計画	督促状の訪問交付							
				実績	対面交付	一部郵送	一部対面	一部郵送				
			③ 利用料口座振替の勧奨	計画								口座勧奨
				実績	電話							第1四半期実施済
			④ 電話対応(納付催促) (入室に係る納付催促)	計画			電話対応					電話対応
				実績	電話		コールセンター		コールセンター	コールセンター		
	目標効果額		実績効果額	計画								
調定額×下記の率の額 現年：1.4% 滞納：6.5%		441千円	実績									
進捗評価点	目標評価点	振り返り	目標未達成 (現年度分 97.5% (未達成) 滞納繰越分 28.6% (達成)) ※全体 90.1% 督促や催告の文面を工夫したこともあるが、課員が自信を持って滞納者へ対応できるようになってきたと感じている。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 /12	1 /3		コメント	目標効果額達成に向けて取り組むこと	目標効果額達成に向けて取り組むこと	目標効果額達成に向けて取り組むこと	目標効果額達成に向けて取り組むこと	目標効果額達成に向けて引き続き取り組むこと				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3

「ほぼ計画通り」・・・2

「目標値の80%以上」・・・2

「計画通りに進んでいない」・・・1

「目標値の80%未満」・・・1

「未着手」・・・0

「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	各所管課の債権（公債権・私債権）の徴収一元化を検討する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修による職員の徴収能力の向上</li> <li>債権回収検討会議の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>債権回収条例の制定</li> <li>関係各課との調整</li> </ul>		調整が整い次第実施				
		目標効果額	検討後に設定	検討後に設定	-	-	-				
所管課	徴収対策課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
令和元（2019）年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		計画	市全体研修の実施（その他の研修利用による周知、参加要請）		計画策定		研修実施			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>債権回収条例の制定</li> <li>関係各課との調整</li> </ul>	年間実施項目	①	実績			総務課と調整	徴収研修実施			
			②	計画	各債権担当課へのOJT実施			適宜実施			
			②	実績		情報提供		担当者研修受講			内部研修
			③	計画	債権回収検討会議の実施			会議実施			
			③	実績	会議実施		事務担会議実施		マニュアル素案策定		会議実施
	④	計画	条例制定可否の決定			可否の決定					
	④	実績				検討中		検討中	可否決定		
	⑤	計画									
	⑤	実績									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	債権一元化検討について債権回収検討会議、研修等を含め、債権保有課は賦課するだけでは徴収部門に移管することはできないことを伝え理解を得た。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	ほぼ計画通り	2
8 / 9	-	コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	条例制定の可否について決定すること				

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	債権回収業務の民間委託による徴収業務の効率化を検討する。	目標	・他市の状況調査	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討		・費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-					
		所管課	徴収対策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	他市調査の集約結果に基づく委託内容の検討		委託内容検討						
	・費用対効果の検討 ・委託可能業務の検討	年間実施項目	②	費用対効果検証		費用対効果検証		見積徴収				
			③	委託実施可否の判断		コールセンター検討 費用算出		実施可否の判断				
	目標効果額	実績効果額	④			コールセンター否 他検討中		課内検討				
	-	-	⑤									
	進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通り 3		ほぼ計画通り 2		計画通りに進んでいない 1				
	6 / 9	-	コメント	予定通りの進捗		概ね予定通りの進捗		コールセンター以外の部分についての検討を継続すること				
			振り返り	市税等以外でもふれあい教室の利用料に関しコール実施するなど新たな取組を行った。委託の実施に向けては、コールセンターについて見積を徴したが、既に直営でコール、投函員業務を実施しており、委託しても費用対効果は見込みづらい。次年度は自力執行権のない債権対策として訴訟、強制執行による部分の委託を検討する。								

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	口座振替納付の推進による、徴収業務の効率化を図る。	目標	70.0%	72.0%	77.0%	81.0%	85.0%					
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる									
所管課	子ども政策課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	子ども政策課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		年間実施項目	①	口座振替納付の勧奨	計画	通知送付			通知送付		
	77.0%			実績	通知送付			通知送付				
	・原則口座振替での納付依頼を実施			②	口座振替申込みに係る利便性向上策の検討	計画	利便性向上策の抽出及び検討			予算要求		導入準備
				実績	利便性向上策の抽出及び検討	利便性向上策の抽出及び検討	予算要求		導入準備			
				③		計画						
				実績								
				④		計画						
				実績								
	目標効果額			⑤		計画						
実績効果額		実績										
徴収率の向上に含まれる												
進捗評価点	目標評価点	振返り	目標達成(77.72%) 口座振替納付を推進するため、利便性向上策を検討した。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 / 12	3 / 3			コメント	予定通り進捗		予定通り進捗		予定通り進捗		予定通り進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度						
実施内容	クレジット納付の導入により、利便性の向上及び徴収業務の効率化を図る。	目標	・庁内及び関係機関との調整 ・対象税目（市税）の確定	・実施（市税）	・検証（市税）	・庁内調整及び関係機関との調整 ・導入に向け対象を確定	・実施						
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる										
		所管課	税務課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
令和元（2019）年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		① 市税として効果検証	計画	効果検証						検証のまとめ		
	・検証（市税）			実績	検証						検証結果		
	目標効果額		年間実施項目	②	計画								
	実績効果額			③	実績								
	徴収率の向上に含まれる		④	④	計画								
	30千円			⑤	実績								
	進捗評価点	目標評価点	振返り	一定の検証は行ったが、他課への導入については、現在の公金収納代行サービスが終了となったため、次年度以降別業者との交渉を開始する。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
	12 /12	-		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗					

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	ペイジー等の導入による利便性の向上と徴収業務の効率化を検討する。	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果等の検討</li> <li>共通納税システムの動向把握</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施</li> </ul>					
		目標効果額	徴収率の向上に含まれる							
所管課	税務課及び他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標			① 共通納税システムの動向把握	計画	国等の通知や説明会で動向の把握					
				実績	説明会出席、動向の把握					
<ul style="list-style-type: none"> <li>費用対効果が見込める場合は、準備が整い次第実施</li> </ul>			② 費用対効果等の検討	計画			国等の動向により必要となった時点から検討			
				実績				国等動向では現状不必要	国等動向で必要となれば検討	
			③ 電子収納の導入検討	計画	課内検討	業者と導入に向けた調整		庁内、関係機関と調整	導入準備	
				実績	課内検討		事業者と情報共有	庁内、関係機関と調整	予算要求	導入せず
			④	計画						
目標効果額			実績							
徴収率の向上に含まれる			⑤	計画						
実績			実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	電子収納について検討、予算要求を行ったが、費用対効果等の観点から導入に至らず。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
12 /12	-			コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」が完了したため、R 1(2019)年度から項目及び実施内容を変更しました。 ※変更前の実施内容は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。			【旧項目】「し尿処理(浄化槽汚泥)手数料の徴収」での実施目標	377件	362件	347件		
	下水道使用料負担の公平性の確保を図るため、下水道処理区域内での水洗化を促進する。 (※平成30年度末 未接続世帯387件)	目標効果額	-	・他市事例の研究 ・有料化についての検討	・未接続家屋等への啓発	・他市事例の研究	・状況が整い次第、下水道法第38条第1項に基づく措置命令の検討、実施		
				検討後に設定	120千円	240千円	360千円		
所管課	下水道課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
今年度の目標		年間実施項目	① 未接続世帯の把握	計画	未接続世帯の抽出(上半期での目標値設定)、現地確認				
			実績	世帯数把握	台帳情報等との突合				
・未接続家屋等への啓発 ・他市事例の研究			② 他市事例の研究	計画	他市事例の収集、未接続時の対応など				
			実績	先進市3市に照会を実施					
目標効果額			③ 未接続世帯へのアンケート及び啓発	計画	アンケート(案)作成		アンケート及び啓発	アンケートの結果分析	
			実績	アンケート(案)作成		アンケート及び啓発	結果分析		
120千円			④ 下水道接続指導要綱の検討、制定	計画	接続指導要綱の検討			接続指導要綱の制定	
			実績	接続指導要綱の検討			接続指導要綱の制定		
267千円			⑤	計画					
			実績						
進捗評価点	目標評価点	振返り	(未接続世帯数370件)未接続世帯を訪問し、アンケートの配布、回収と下水道への接続をお願いした。本年度は、17件下水道への接続をしていただいた。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	
12 /12	3 /3	コメント			予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	【H30(2018)年度の取組みを一年継続】	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	※H30(2018)年度の目標をR1(2019)年度まで継続し、見直し後の料金適用年度をR2(2020)年10月からに延期しました。	目標	・近隣市の動向把握	・庁内検討 ・見直し案の決定	R1(2019)年度で取組み完了					
	消費税率の改定に併せて全庁的に受益者負担金等の見直しを検討する。	目標効果額	-	検討後に設定				-	-	
	所管課	財政課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
令和元(2019)年度	今年度の目標		①	コスト計算取りまとめ	計画	集計				
	・庁内検討 ・見直し案の決定	年間実施項目	②	庁内検討会の開催	計画	集計				
			③	新料金見直し案の仮決定と決定	計画	開催				
			④	関係団体等との調整	計画	仮決定		決定		
			⑤	予算案と条例改正案の上程	計画	未実施		庁内会議 2回開催	2回開催	2回開催
			⑥	関係団体等との調整	計画	未実施		未実施	手数料維持	使用料維持
	目標効果額	実績効果額	⑦	関係団体等との調整	計画	未実施				
	-	-	⑧	関係団体等との調整	計画	未実施				
	-	-	⑨	関係団体等との調整	計画	未実施				
	-	-	⑩	関係団体等との調整	計画	未実施				
進捗評価点	目標評価点	振返り	手数料使用料ともに、検討を重ね、消費税を契機とした見直しについては実施しないと決定したため、取組み終了。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1		
4 / 12	-	コメント	下半期に料金見直し決定を行い、団体への周知に着手すること				庁内検討を重ね、見直ししないことに決定			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	R1(2019)年度で取組み完了						
		目標効果額	-	検討後に設定				1,510千円	-	-	
		所管課	保健センター	区分				C 各課の取組み	実施責任者	保健センター所長	評価者
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
令和元(2019)年度	今年度の目標		① 自己負担額改定	計画	契約医療機関へ周知	広報誌等による周知	改定				
	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討	年間実施項目		実績	追加の庁内合意	周知予定	広報誌等	改定			
			② 議会への説明	計画	全員協議会						
				実績	説明						
			③ 医師会への周知	計画		周知					
				実績		周知					
			④	計画							
	実績										
	目標効果額	実績効果額	⑤	計画							
	1,510千円	1,281千円		実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	がん検診等の自己負担額について、2割の定率化及び免除基準の見直しを実施し、がん検診の適正化を図ったため、取組み終了とする。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
9 /9	2 /3		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3

「ほぼ計画通り」・・・2

「計画通りに進んでいない」・・・1

「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3

「目標値の80%以上」・・・2

「目標値の80%未満」・・・1

「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	適正な受益者負担について検討する。	目標	・他市の状況調査	・課題抽出 ・大東市との調整	<div style="border: 2px solid orange; padding: 5px;">                     ・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討                 </div>			R1 (2019) 年度で取組み完了			
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
		所管課	保健センター	区分	C 各課の取組み	実施責任者	保健センター所長		評価者	行革担当部長	評価周期
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
令和元(2019)年度	今年度の目標	①	自己負担額の改定	計画	実施決定	広報誌等による周知	改定				
			実績	免除基準見直しの庁内合意	広報誌等	改定					
	・医師会及び検診実施機関との調整が済み次第、実施についての検討	②	議会への説明	計画	全員協議会						
			実績	説明							
	③	医師会への周知	計画		周知						
		実績		周知	他市周知						
	目標効果額	実績効果額	④	計画							
				実績							
	-	-	⑤	計画							
				実績							
進捗評価点	目標評価点	振返り	予防疫種の自己負担免除基準について、がん検診等に合わせて見直しを実施し、適正化を図った。検討の結果、自己負担率については、がん検診等の負担率と既に同率であるため、改正しないこととし、取組み終了とする。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	
9 / 9	-		コメント	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	一般家庭ごみに係る処理手数料について検討する。	目標	・他市の状況調査	・粗大ごみ一部有料化に伴う減量効果についての検証	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	・検証結果等をもとに、一般ごみ有料化についての方向性を検討						
		目標効果額	-	-	-	-	-					
所管課	生活環境課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	生活環境課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	有料化についての課題抽出	計画		課題整理及び抽出					
	・有料化についての課題抽出 ・近隣市の状況把握	年間実施項目	②	大阪府内の先行事例を調査	計画	調査対象市の選定	視察		視察		調査結果のとりまとめ	
			実績		選定実施		10月予定	視察	1月予定	視察	とりまとめ	
			③		計画							
			実績									
			④		計画							
	目標効果額	実績効果額	⑤		計画							
	-	5,482千円	実績									
	進捗評価点	目標評価点	振返り	次年度は、ごみの減量目標の達成状況を見極めながら、他市の事例を参考に、本市にふさわしい有料化の在り方を検討したい。	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2	計画通り
9 / 12	-	コメント		予定通りの進捗		課題整理及び抽出を行うこと		1月の視察後、調査結果をとりまとめること		予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度						
実施内容	市役所の駐車場等、使用料を徴収していない施設の有料化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・有料化を検討すべき施設の抽出	・抽出した施設の費用対効果の検討	・費用対効果が見込める施設については、準備が整い次第実施							
		目標効果額	-	-	-	-	-						
所管課	施設再編室及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと				
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		年間実施項目	① 費用対効果の検証	計画	費用対効果の検証							
				② 対象施設所管課との調整	実績	未実施							
				③ 実施判断	計画		庁内調整						
					実績		未実施						
				④	計画				実施判断				
					実績				未実施				
				⑤	計画								
					実績								
	目標効果額	実績効果額											
-	-												
進捗評価点	目標評価点	振返り	他業務が繁忙であったため、全ての項目について未実施となってしまった。	進捗評価	未着手	0	未着手	0					
0 / 6	-			コメント	早急に着手すること								

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容				年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	新たな税外収入及び既存収入増加策について検討する。			目標	・他市事例の研究 ・本市で実施可能な項目を抽出	・費用対効果の検討 ・関係機関調整	・準備が整い次第実施						
				目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
				所管課	財政課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
実施内容と振返り				月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標		年間実施項目	①	実施可能項目の精査	計画	項目精査							
・準備が整い次第実施			②	実施可能項目にかかる他市事例の調査	計画	課内検討							
					実績	他市事例の研究							
			③	関係機関調整	計画	未実施				関係機関及び庁内調整			
					実績					予算編成の中で検討			
目標効果額			実績効果額	④	規程の整備	計画						規程の整備	
						実績						必要無	
-			-		⑤								
進捗評価点	目標評価点		振返り	他市に聞き取るも特に参考となる情報は無。都市計画税課税区域の見直しは別項目で進捗管理。ふるさと納税の取り組みは別で進捗管理。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1			
4 / 12	-				コメント	他市事例調査等を通じて、実施可能項目を精査していくこと			引き続き検討を続けること				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	都市計画施設である下水道が整備されている地域のうち、都市計画税が課税されていない地区への課税を検討する。	目標	R1(2019)年度からの実施項目			・他市事例の研究	・状況が整い次第、条例案の検討、改正及び周知		
		目標効果額				-	-	-	-
所管課	税務課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	税務課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和元(2019)年度	今年度の目標		① 有料化についての課題抽出	計画		実施市への調査	視察・調査結果の分析	課題抽出	
				実績		実施市への調査	実施市への調査	実施市への調査	
			②	計画					
				実績					
			③	計画					
				実績					
			④	計画					
				実績					
	目標効果額		⑤	計画					
	実績効果額			実績					
進捗評価点	目標評価点	振返り	実施市調査に時間を要し、全ての課題抽出にまで至らず、次年度に取り組む	進捗評価	計画通り 3	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2		
7 / 9	-	コメント		予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容			年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	社会情勢の変化や多様化する市民ニーズに即した活用を図るため、特定目的基金の整理、再編について検討する。	目標	・他市事例の研究	・庁内検討 ・対象基金の関係者等との調整	・条例改正等を実施	・整理、再編の実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-						
所管課	財政課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと				
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標		①	今後の基金の在り方を検討	計画	課題整理		庁内検討					
	・条例改正等を実施	年間実施項目	②	関係者等との調整	計画		他市照会	庁内会議	庁内会議	庁内会議2回			
				実績			未実施		関係部局ごとに調整				
			③	条例(案)の策定	計画					条例案の策定			
				実績			条例案及び規則案策定						
	目標効果額	実績効果額	④	条例(案)の上程	計画						上程		
	-	-	⑤		計画								
				実績									
	進捗評価点	目標評価点	振返り	公共施設整備基金及び退職手当基金を除く特目基金について整理し、原則規則にて整備することとした。新設基金2つは議会上程済。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通り	3	計画通り	3
9 / 12	-	コメント		まずは庁内で一定の結論を出すこと				予定通りの進捗					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	技能労務職への行政職給与表(二)導入などを検討する。	目標	・他市事例の研究	・現業職のあり方の検討	・検討結果を踏まえた調整を行う。					
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-			
		所管課	人事室及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
今年度の目標		年間実施項目	① 技能労務職の職のあり方検討	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施	今後の方針を決定	次年度以降の採用計画に反映			
・検討結果を踏まえた調整を行う。			②	実績	申入れ	未実施	未実施	内協議準備	庁内協議	組合協議
			③	計画						
目標効果額			④	実績						
			⑤	計画						
実績効果額				実績						
進捗評価点	目標評価点		振り返り	今年度は、例年の給与改定に加え、会計年度任用職員制度の創設や休暇の見直しなど、職員団体との協議が多岐にわたったため、技能労務職のあり方については後手にまわってしまった。今後、協議を重ねていきたい。	進捗評価	計画通りに進んでいない 1	未着手 0	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1	
3 / 12	-			コメント	協議を実施すること	まずは協議を実施すること	第1歩として庁内協議を実施すること	巻き返しを図ること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針1	⑥・1	項目	新地方公会計制度における日々仕訳の導入
-----	-----	----	---------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	新地方公会計制度において、現在実施中の期末一括仕分けから、より詳細かつ即応性のある日々仕訳の実施を検討する。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施	R1 (2019) 年度で取組み完了					
		目標効果額	-	-	-			-			
		所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
令和元(2019)年度	実施内容と振返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
	今年度の目標		① 日々仕分けの実施	計画	システムを活用した日々仕分けの実施						
	・実施	年間実施項目	② 会計課との調整	実績	実施	実施	実施	実施			
				計画	問題点の洗い出しやより円滑な運用に向けての協議調整						
	③ 職員研修の実施	実績	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出	運用の中で問題点抽出					
		計画			研修						
	目標効果額	実績効果額	④	計画							
				実績			未実施				
	進捗評価点	目標評価点	振返り	⑤	計画						
					実績						
進捗評価	目標評価	振返り	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
11 /12	-	目標達成 日々仕訳を実施したため取組み終了。	コメント	予定通りの進捗		会計課との調整、必要に応じた研修実施を図ること		予定通り進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	より効率的な事業実施の指標とするため、複式簿記を用いた事業別コスト計算書の作成を行う。	目標	・電算事業者との調整 ・課題抽出	・電算事業者との調整 ・職員研修の実施 ・処理マニュアルの作成	・実施						
		目標効果額	-	-	-	-	-				
所管課	財政課及び会計課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標			① システム稼働	計画	システムを活用した複式簿記による財務処理						
・実施	年間実施項目	② 事業別コスト計算による調書作成(モデル事業)	計画				調書作成(上半期)				
			実績				未実施				
③ コスト計算書についての職員向け説明会	④	計画							説明会		
		実績							未実施		
目標効果額	実績効果額	⑤	計画								
-	-		実績								
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
8 /12	-		コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		実施に向けて業者との交渉を継続すること		実施に向けて業者との交渉を継続すること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度						
実施内容	入札の多様化に伴い、入札方法選択基準の策定を行う。	目標	・庁内現状把握 ・他市事例の研究	・選択基準の策定に係る 庁内調整	・入札方法選択基準の策定								
		目標効果額	-	-	-	-	-						
		所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと		
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)						
今年度の目標			①	随意契約ガイドラインの発出	計画	ガイドラインの発出							
令和元(2019)年度	・入札方法選択基準の策定	年間実施項目	②	総合評価落札方式(工事・委託)指針の策定・発出	計画		総合評価落札方式の指針の策定・発出						
				実績			未実施	未実施				契約研修実施	発出
			③	入札方法選択基準の策定	計画								入札方法選択基準の策定
					実績				契約、入札方法等に関する要綱等一部改正				未実施
			④	計画									
				実績									
目標効果額	実績効果額	⑤	計画										
-	-	実績											
進捗評価点	目標評価点	振り返り	進捗評価	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
4 / 12	-		コメント	③項目を先に実施した上で、①、②を実施することではあるが、いずれにせよスケジュールに遅れが見られるため、着実に進めること				各種基準等の発出の前に、入札・契約制度に関する基礎的な研修を実施したこともあり、スケジュールに遅れが生じているが、来年度はスケジュールに沿って進めていくこと					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3

「ほぼ計画通り」・・・2

「計画通りに進んでいない」・・・1

「未着手」・・・0

◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3

「目標値の80%以上」・・・2

「目標値の80%未満」・・・1

「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	電気設備、消防設備、空調設備など、施設保守にかかる業務の包括委託化を検討する。	目標	・ 庁内現状把握 ・ 他市事例の研究	・ 実施に向けての庁内調整	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-					
所管課	施設再編室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと			
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標		①	有料化についての課題抽出	計画	聴き取り及び見積もり徴取						
	施設の契約更新の時期に合わせて、可能なものから順次実施			実績	未実施							
			②	①の効果検証、実施判断	計画		①の効果検証及び実施判断					
				実績		未実施	未実施					
			③	包括委託方法の再検討	計画		業者からの聞き取り調査					
				実績		未実施	未実施					
	目標効果額	実績効果額	④	仕様書案作成及び実施準備	計画			関係課との調整	仕様書案作成		実施準備	
				実績			未実施	未実施			先進市調査	
	-	-	⑤		計画							
		実績										
進捗評価点	目標評価点	振り返り	他業務が繁忙であったため、一部項目についての調査に留まってしまった。鎌倉市から業務仕様書を入手したので、委託にあたってのベースに使用する。	進捗評価	未着手	0	未着手	0	未着手	0	計画通りに進んでいない	1
1 / 12	-			コメント	巻き返しを図ること	早急に着手すること	早急に着手すること	来年度巻き返すこと				

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容				年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	※H30(2018)年度の目標のうち実施できなかった低圧電力及びガスの入札については、R1(2019)年度に行います。 平成30年度の電力調達契約の更改に伴い、ガスの調達も併せて実施する。				目標	・調達に係る他市事例の研究	・入札の実施	【H30年度未実施の取組						
					目標効果額	-	2,700千円	386千円	-	-				
	施設再編室				区分	C 各課の取組み		実施責任者	施設再編室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと	
令和元(2019)年度	実施内容と振返り				月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
	今年度の目標				①	有料化についての課題抽出	計画	調査のとりまとめ						
	・低圧電力及びガスの入札を実施				年間実施項目	②	仕様書案の作成	計画		仕様書案作成				
								実績		調査のとりまとめ途中				
					③	入札の実施(成果連動型民間委託契約の動向により実施判断)	計画			実施判断		入札		
							実績			未実施		未実施		
	目標効果額				実績効果額	④	計画							
							実績							
	386千円				25,224千円	⑤	計画							
	進捗評価点				目標評価点	振返り	他業務が繁忙であったため、一部項目についての調査に留まってしまった。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	未着手	0
3 / 9				3 / 3	コメント			概ね予定通りの進捗		仕様書を作成し、計画に沿って進めること		計画に沿って取組を進めること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度		
実施内容	指定管理者制度の未実施施設に対する導入の検討及び複数施設の一括指定管理など、指定管理者制度のあり方について検討する。	目標	・関係各課と指定管理制度の在り方を検討	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討		R1 (2019) 年度で取組み完了			
		目標効果額	-	-	-	-	-		
所管課	総務課及び他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和元(2019)年度	今年度の目標		① 導入可能施設のリスト化	計画	導入可能施設のリスト化				
	・公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画をふまえて検討	年間実施項目	② 政策決定会議で協議	計画				リスト化	
			③	計画				協議	
			④	計画				未実施	
			⑤	計画					
			⑥	計画					
	目標効果額	実績効果額	④	実績					
	-	-	⑤	実績					
	進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	未着手 0	未着手 0	計画通りに進んでいない 1		
	1 / 9	-	第三四半期にリスト化まではこぎつけたもの、政策決定会議における協議まで行っていない。ただ、個別施設計画における各施設の具体的な方向が示されていない部分が多い中でのこれ以上の検討は困難なため、取組み終了とする。	コメント	個別施設計画の進捗状況次第ではあるが、庁内連携の上、現在の実情等に基づいて可能な範囲から実施すること		個別施設計画における各施設の具体的な方向性が示されておらず、協議は困難となっている		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	庁舎管理業務員について、業務委託化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内調整	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
		所管課	人事室	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
令和元(2019)年度	今年度の目標		年間実施項目 ① 有料化についての課題抽出 ② 費用対効果の検討及び実施判断 ③ ④ ⑤ 振返り 他市事例を基に、手続き関係や障がい者雇用率の課題解決の方向性は見いだせた。あとは費用対効果と、実施判断に向けた職員団体への協議申入れのタイミングが課題である。	計画			課題整理				
	・実施に向けた調整、協議、規定整備等、準備が整い次第実施	②		実績			整理中	未実施	課題整理		
				計画				費用対効果の検討	実施判断		
	目標効果額	実績効果額		④	実績			未実施	未実施		
					計画						
	-	-		⑤	計画						
					実績						
	進捗評価点	目標評価点		振返り	進捗評価	計画通り	3	未着手	0	計画通りに進んでいない	1
	4 / 9	-			コメント	予定通りの進捗		組合との他の協議事項終了後、本件についても交渉を始めること		費用対効果を検証し、実施判断に向けた組合協議を進めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	草刈及びスクリーン清掃業務の委託化を検討する。	目標	・実施に向けた検討	・費用対効果の検討	・技能労務職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施					
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-			
		所管課	人事室及び他所管課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	人事室課長	評価者	行革担当部長	評価周期
実施内容と振り返り			月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)			
令和元(2019)年度	今年度の目標		年間実施項目 ① 有料化についての課題抽出 ② ③ ④ ⑤	計画	業務の見直し及び全庁的な協力体制について協議を実施	今後の方針を決定	次年度以降の採用計画に反映			
	・現業職のあり方の検討を踏まえ、実施に向けた調整をはじめ、準備が整い次第実施	実績			協議申入	未実施	未実施	庁内協議準備	庁内協議	組合交渉
		計画								
	目標効果額	実績効果額		計画						
				実績						
	-	-		計画						
				実績						
	進捗評価点	目標評価点		進捗評価	計画通りに進んでいない 1	未着手 0	計画通りに進んでいない 1	計画通りに進んでいない 1		
	3 / 12	-		コメント	協議を実施すること	まずは協議を実施すること	第1歩として庁内協議を実施すること	取組を前進させること		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針2	⑥・1	項目	事務事業等にかかる広域連携の推進
-----	-----	----	------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度						
実施内容	【旧項目】「事務事業にかかる広域化共同処理の推進」を終了し、R1(2019)年度から項目及び実施内容を変更しました。 ※変更前の実施内容は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。	目標	【旧項目】「事務事業にかかる広域化共同処理の推進」での実施目標										
	平成30年12月に大阪府が取りまとめた「広域連携に関する研究」報告書の内容を踏まえつつ、広域連携可能な事務事業等に関し、大阪府及び近隣市との研究を行う。	目標効果額	-	-	-	-	-						
所管課	秘書政策課及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者	副市長	評価周期 四半期ごと						
令和元(2019)年度	実施内容と振り返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
	今年度の目標	①	北河内ブロック会議を通じた近隣各市の状況把握	計画			ブロック会議				ブロック会議		
			実績			ブロック会議			ブロック会議				
	・近隣市の状況と意向の把握 ・実施に向けた意見交換の開始	②	寝屋川市との施設共同利用に関する研究	計画	寝屋川市との研究会の開催	庁内照会			研究会			研究会	
			実績	研究会の開催、情報交換	野外活動センターでの取組みを模索、担当課から情報収集し寝屋川市へ伝達			研究会の開催、情報交換			研究会の開催、情報交換		
	目標効果額	実績効果額	④	計画									
				実績									
	進捗評価点	目標評価点	振り返り	ブロック会議を通じ、他市状況等の情報共有は行えているものの、各市毎の個別事情もあり、具体的な進展は期待できる状況には無い。 施設の共同利用に向けた寝屋川市との研究については、両市の所管部局から資料提供いただき、意見交換を行ったが、短期的実現は困難な見通しと思料している。	進捗評価	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3	計画通り	3
				コメント	予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		予定通りの進捗		
	12 /12	-											

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針2	⑥・2	項目	下水道事業における処理区統合の推進
-----	-----	----	-------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度
--------------	--	----	---------------	---------------	--------------	--------------	--------------

実施内容	※R1(2019)年度までの実施目標としていた「処理区統合に係る管渠施設の整備」をR2(2020)年度まで延長しました。		【管渠施設の整備を1年延長してR1(2020)年度まで実施】						
	目標	・処理区統合に係る管渠施設の整備					・処理区統合		
	実施内容	下水道事業における処理区統合を推進する。		・処理区統合に係るポンプ場施設の整備					
目標効果額	-		-		-		-		
所管課	下水道課	区分	C 各課の取組み	実施責任者	下水道課長	評価者	行革担当部長	評価周期	四半期ごと

実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
令和元(2019)年度	今年度の目標		①	有料化についての課題抽出	計画	設計・協議		施工					
	・処理区統合に係る管渠施設の整備 ・処理区統合に係るポンプ場施設の整備	年間実施項目	②	ポンプ場化工事(日本下水道事業団との協定に基づく委託)	計画	協定	協定に基づき、日本下水道事業団が施工						
					実績	要請	協定	協定に基づき、日本下水道事業団が施工					
	目標効果額	実績効果額	④	計画									
				実績									
	-	-	⑤	計画									
				実績									
	進捗評価点	目標評価点	振返り	管渠設工については、予定通り終了したが、ポンプ場化工事については、下水道事業団の入札が一部不調となったため、遅れが生じている。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	計画通り	3
	10 / 12	-			コメント	引き続き進めること		引き続き進めること		予定通りの進捗		予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容				年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度			
実施内容	※R1(2019)年度から実施内容を変更 ※変更前の実施内容は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。			【旧実施内容での実施目標】								
	し尿希釈放流施設の流域下水道処理施設内への共同設置をめざして、大阪府、近隣市と共に検討を行う。			・他市事例の研究	・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整							
	目標	目標効果額		-	-	-	-	-				
所管課	生活環境課及び下水道課			区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと		
令和元(2019)年度	実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)	
	今年度の目標			①	大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討	計画		会議				会議
	・大阪府汚水処理事業の広域化・共同化検討会での検討 ・関係市との協議、調整			②	関係市(門真市・寝屋川市)との協議、調整	計画		会議				会議
				③		計画						
	目標効果額	実績効果額	④		計画							
	-	-	⑤		計画							
					実績							
	進捗評価点	目標評価点	振返り	次年度も引き続き、関係市との協議も含め、大阪府汚水処理事業の広域化、共同化検討会での検討を行う。	進捗評価	計画通り		3			ほぼ計画通り	
	5 / 6	-	コメント		予定通りの進捗						検討を深めること	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	集中して事務処理を行える環境を整えることで、業務処理効率の向上を図る。	目標	・他市事例の研究	・課題抽出 ・庁内検討	・随時実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
		所管課	施設再編室及び人事室	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標		年間実施項目	① 組織改善アンケートと改善アクションの実施	計画	1回目アンケート実施 結果報告	2回目アンケート実施 結果報告	3回目アンケート実施 結果報告	4回目アンケート実施 結果報告			
・随時実施			② 庁内検討	実績	契約、方針打合せ		1回目アンケート実施、説明会開催	2回目アンケート実施	結果報告、3回目アンケート実施		
				計画	P Tによる検討				予算要求	導入に向けた準備	
目標効果額			実績効果額	③ 全庁不要物整理の実施	実績	開催に向けた準備、打ち合わせ		P Tによる検討	P Tによる検討	P Tによる検討	
					計画			全庁不要物整理の実施			
-			-	④	計画			各課へ通知			
					実績						
進捗評価点			目標評価点	振返り	⑤	計画					
						実績					
8 /12			-	①ではアンケートから把握できた執務環境の課題として、不要物整理の実施を行った。 ②では働き方改革PTでの検討となっているが、別の課題解決の検討を行っているため、例えばフリーアドレス等のハード面の検討までには至っていない。	進捗評価	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2	ほぼ計画通り 2		
				コメント	概ね予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗	概ね予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針3	④・2	項目	窓口業務の効率化(ICTの推進)
-----	-----	----	------------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度		
実施内容	ICTを含めた窓口業務効率化を検討する。  ※平成30年度末 マイナンバーカード交付率 12.0% 証明書窓口交付率 100%	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・実施後は、交付率向上のための対応策を随時実施				
		目標効果額	-	-	-	-	-		
		所管課	市民課、田原支所及びその他所管課	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	市民生活部長	評価者	副市長

実施内容と振り返り		月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)				
今年度の目標		計画	参加申込・印鑑条例整理		システム整備・工程試験①	工程試験② 交付実施	運営・管理			
令和元(2019)年度	マイナンバーカード 交付率20% 証明書窓口交付率90%  ・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施	①	計画	総務課へ契約依頼済 契約後参加申込 印鑑条例検討中	システム整備	工程試験①完了 12/1実施済み	システムによる適正な運営管理			
		②	計画	窓口あり方検討会実施		システムによるデータ蓄積・解析				
		実績	検討会実施	仕様書等検討	業者協議	契約方法検討	見積依頼	見積検討結果見送り	今年度実施無し	
		③	計画	広報		広報	出張受付	広報	休日受付	出張受付
		実績	広報掲載		イオン出張受付	自治会出張受付 広報誌掲載	自治会出張受付	自治会出張受付	自治会出張受付・休日開庁	自治会出張受付(3/1予定)
目標効果額	実績効果額	計画								
-	-	実績								
進捗評価点	目標評価点	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	ほぼ計画通り	2
8 / 12	1 / 3	コメント	予定通りの進捗		窓口受付システムについて、業者選定等を実施し、稼働させること		窓口受付システムは検討の結果導入せず		ほぼ予定通りの進捗	

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針3	④・3	項目	公文書電子化の推進
-----	-----	----	-----------

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度		
実施内容	R1(2019)年度から文書電子化比率を数値目標に設定し、各年度の実施目標を変更しています。 ※変更前は、H30(2018)年度のシートをご覧ください。	目標			文書電子化比率 現年 76.0% 過年度リスト化率50%	文書電子化比率 現年 80.0% 過年度リスト化率100%	文書電子化比率 現年 84.0%		
	起案書のフォーマット統一化による電子起案の推進と現存する紙文書の電子化を行う。		・廃棄文書の選別と廃棄	・起案文書の統一 ・フォーマットの作成及び運用開始	・保存する紙文書の適切な廃棄、整理、リスト化 ・保存する紙文書の電子化に係る他市事例の研究	・文書管理システムの更新 ・保存する紙文書の電子化に向けた準備(リスト化等)	・電子化比率向上策を随時実施 ・保存する紙文書の電子化の実施		
	※平成30年度末 文書電子化比率 現年 70.3% 過年度リスト化率 20.2%	目標効果額	-	-	-	-	-		
所管課	総務課及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半期ごと

実施内容と振返り			月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
令和元(2019)年度	今年度の目標	年間実施項目	① 簿冊情報のリスト化	計画					各課に簿冊情報のリスト作成依頼(エクセル)				
				実績					未実施		実施		
	② 文書の保存期間の見直し及び紙文書の適切な廃棄処理		計画	年度更新に伴う廃棄処理				保存期間の見直し、総務課への変更届提出及び文書の廃棄					
			実績	実施				未実施		実施			
	③ 全庁的な文書保存期間に係る基準の見直し		計画	文書保存期間に係る新たな基準の検討及び新基準での見直しを各課に依頼			提出された変更届けに基づき、文書管理システムの登録を修正						
			実績	未実施		未実施		未実施					
	④ 保存する紙文書電子化に係る他市事例の検討		計画	保存する紙文書電子化に係る他市事例の調査			調査結果を踏まえた保存する紙文書電子化に向けた検討						
			実績	実施		実施		検討		第3四半期で実施済			
	目標効果額		実績効果額	⑤ 電子決裁推進に効果的な次期文書管理システムの検討	計画	先進市の情報収集		業者への資料請求		予算要求等			
	-		-		実績	実施		実施		実施		検討	
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1		
5 / 12	1 / 3		コメント	各項目について、具体性をもって着実にすすめること				全般的に遅れているため、スケジュールに沿って進めること					

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針3	④・4	項目	会議資料（例規集）等の電子化
-----	-----	----	----------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度				
実施内容	タブレット端末の導入による業務の効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・課題抽出	・準備が整い次第実施						
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-				
		所管課	総務課及び他所管課 ※2019年度から所管課変更【旧：総務課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標		年間実施項目	① 予算化を前提として、運用方法の検討	計画	運用の検討						
・準備が整い次第実施			② 仕様等の検討	計画		仕様等の検討					
				実績	運用の検討と見積用計画書						
			③ 無線等の環境整備、データ移行	計画		環境整備					
				実績		未実施	環境整備実施				
		④ 調達・納品・運用、効果検証	計画		入札		納品	運用開始・効果検証			
目標効果額	実績効果額		実績		未実施	入札	議決	翌月以降	作業	納品	運用
-	-		⑤	計画							
			実績								
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1	計画通りに進んでいない	1
6 /12	-		コメント	アクセスポイントの設置は完了し、3月運用開始。		予定通りの進捗	計画通りに進め、納品を間に合わせることに	納品遅延を真摯に受け止め早急に対処すること	今年度中の運用は遅れず実施すること		

○進捗評価：「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点：「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容				年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度	
実施内容	議事録作成システムまたはアプリ導入による、業務の効率化を検討する。				目標	・他市事例の研究	・費用対効果の検討 ・試験導入の実施 ・課題抽出	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施		
					目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-
					所管課	総務課及び議会事務局	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長
実施内容と振返り				月	第1四半期	第2四半期(上半期)	第3四半期	第4四半期(下半期)		
令和元(2019)年度	今年度の目標		年間実施項目	① 運用	計画	運用				
	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第実施			② 効果検証・課題抽出	計画	効果検証・課題抽出				
				実績	運用	運用実施	運用実施	運用実施		
	目標効果額			③ 最適なシステムの導入に向けた検討	計画	最適なシステムの導入に向けた検討				
				実績	検証課題抽出	課題抽出実施	実施	実施		
	実績効果額			④	計画	検討	検討	検討	検討	
				実績						
	-			⑤	計画					
				実績						
	進捗評価点	目標評価点		振返り	リアルタイム文字起こしの検討を行うこととし、実証実験を更に進めるものとした。	進捗評価	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3	計画通り 3
12 /12	-	コメント		予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗	予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

方針3	④・8	項目	オープンデータの推進
-----	-----	----	------------

5年間の実施項目及び内容		年度	H29 (2017) 年度	H30 (2018) 年度	R1 (2019) 年度	R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度				
実施内容	<p>※H30(2018)年度の実施目標としていた「利用ルールの策定」をR1(2019)年度まで延長しました。</p> <p>市の調査や統計データなどを民間に公表し、利活用を促進する。</p>	目標	・他市事例の研究	<p>【利用ルールの策定を1年延長してR1(2019)年度まで実施】</p> <p>・課題抽出</p> <p>・利用ルールの策定</p>	<p>・所管課の準備が整い次第、順次実施</p>	R1 (2019) 年度で取組み完了					
	目標効果額	-	-	-	-	-	-				
	所管課	魅力創造室及びその他所管課	区分	A 全庁的取組み	実施責任者	行革担当部長	評価者	行革推進本部	評価周期	半年ごと	
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)		
今年度の目標		計画	データ棚卸し	ルールの策定							
<p>・所管課の準備が整い次第、順次実施</p>		①	実績	データ棚卸し	ルールの策定 (たたき台)						
		②	計画					所管課の準備が整い次第順次実施			
			実績						ルールの策定、データ及び公開方法準備	実施	
		③	計画								
			実績								
④	計画										
目標効果額	実績効果額	⑤	計画								
-	-		実績								
進捗評価点	目標評価点	振返り	進捗評価	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り	3	計画通り	3
11 / 12	-		コメント	ルールを早く完成させ、次の段階に進むこと				概ね予定通りの進捗			

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0

行革プラン進捗管理チェックシート

5年間の実施項目及び内容		年度	H 2 9 (2017) 年度	H 3 0 (2018) 年度	R 1 (2019) 年度	R 2 (2020) 年度	R 3 (2021) 年度					
実施内容	施設予約システムの導入による業務効率化を検討する。	目標	・他市事例の研究 ・導入に向けた課題抽出	・費用対効果の検討	・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施							
		目標効果額	-	検討後に設定	-	-	-					
		所管課	施設再編室、生涯学習推進課及びその他所管課 ※R1(2019)年度から所管課変更 【旧：生涯学習推進課及びその他所管課】	区分	B 課を超えた取組み	実施責任者	総務部長	評価者	副市長	評価周期	四半期ごと	
実施内容と振返り		月	第1四半期		第2四半期(上半期)		第3四半期		第4四半期(下半期)			
今年度の目標		年間実施項目	① 庁内検討会の開催	計画	開催	開催	開催	開催	開催	開催		
・実施に向けての調整をはじめ、準備が整い次第、順次実施			② 仕様の検討	実績	開催	開催	開催	開催	開催			
				計画	仕様の検討							
目標効果額			実績効果額	③ プロポーザル方式による業者選定	計画	検討・決定						
					実績	仕様検討中(入札へ変更)		入札実施				
-			-	④ システム導入	計画	システムの構築					開始	
					実績			構築	構築		構築	開始
-			-	⑤ 規則の改正	計画	規則改正案検討			規則改正			
					実績	改正案検討			改正案検討		改正	
進捗評価点	目標評価点		振返り	複数部署にまたがるシステムであり、調整が難航する場面もあったが、今年度に導入することができるめどが立った。予約については段階的な開始となるが、先行施設の動向に注視しつつ次年度に拡大を図っていく。	進捗評価	ほぼ計画通り	2	計画通り	3	ほぼ計画通り	2	ほぼ計画通り
9 / 12	-		コメント	仕様の決定を行うこと		予定通りの進捗		年度内に規則改正も実施すること		概ね予定通りの進捗		

○進捗評価 : 「計画通り」・・・3 「ほぼ計画通り」・・・2 「計画通りに進んでいない」・・・1 「未着手」・・・0  
 ◆目標評価点 : 「目標値以上」・・・3 「目標値の80%以上」・・・2 「目標値の80%未満」・・・1 「目標値の0%以下」・・・0